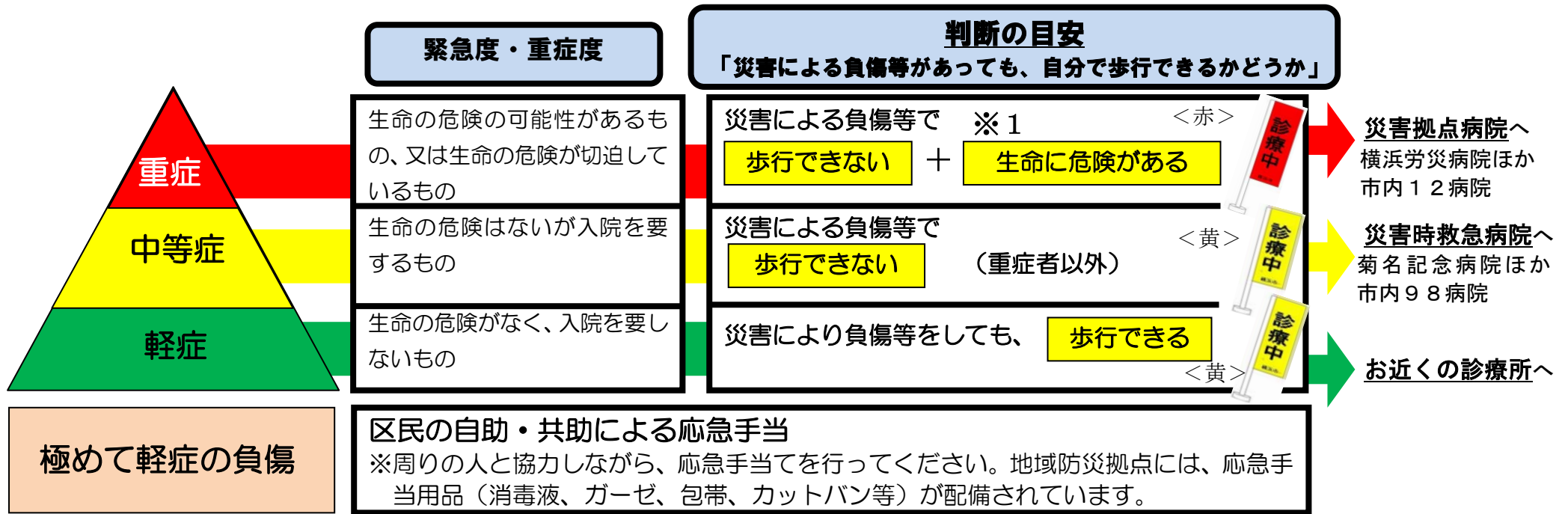


港北区における災害時の医療について

大規模災害が発生した時には、症状の重さにより、緊急度（優先度）が変わります。
 医療機関では、限られた人と資源で、できる限り多くの方の命を救うため、重症者の治療が優先されます。
 負傷者等の緊急度・重症度により、治療や搬送の順番を決めざる得ない状況となります。
 負傷等の状況に応じて、重症・中等症・軽症ごとに、医療機関は役割を分担しています。
 災害時に診療が受けられる病院・診療所は、「診療中」を表す赤、又は黄色の旗を掲出します。
 ☆「判断の目安」を参考に、ご自身や周りの人が判断して受診先を選択または自助共助による応急手当をお願いします。



※1 『生命に危険がある』状態とは、意識が低下している、呼吸が浅い、脈が振れない、手足が冷たい、大出血をしている

◆併せて、各地域防災拠点を巡回する医療救護隊を1隊以上編成し、災害の被害程度に応じて活動します。

医療救護隊は、地域防災拠点で軽症者の応急手当を行います。

◆医療機関が発行した処方箋を調剤できる薬局は「開局中」のフラッグを掲出します。

<黄>



【お問い合わせ】港北区福祉保健課
045(540)2360